

T+Jブレイス テーラー型 693N 取扱説明書

警告 (この注意事項を守らないと、使用者が重傷を負うおそれがあります)

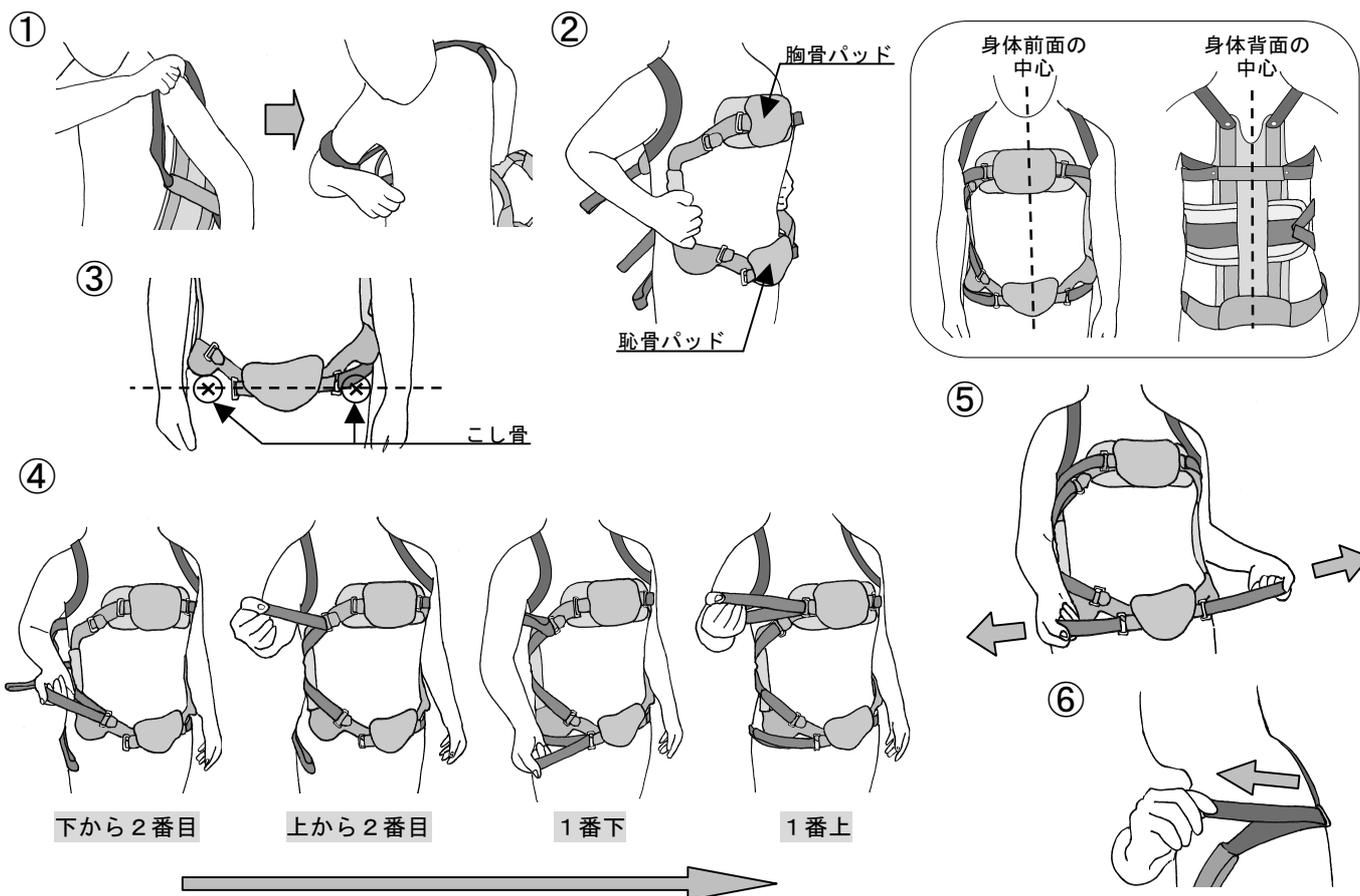
- ▶ 本装具は医師の処方のもと、義肢装具士が調整・適合確認し、ご使用いただく装具です。
- ▶ 本装具の使用に際しては医師の指示に従い、義肢装具士など医療従事者の十分な指導を受け、正しくご使用ください。
- ▶ 本装具の使用により痛みやしびれ、かぶれ等の異常が生じた場合は使用を中止し、速やかに医師または義肢装具士に相談してください。
- ▶ 本装具は長期間の使用及び使用状況により破損する恐れがあります。万一、破損した場合はすぐに使用を中止し、医師または義肢装具士にご相談ください。
- ▶ 本装具の加工、改造は絶対に行わないでください。
- ▶ ご本人以外のご使用はお止めください。

注意 (この注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害のおそれがあります)

- ▶ 装着前には必ず装具に異常がないか確認してください。
- ▶ 装着の際は、前後、上下を確認し、装着してください。
- ▶ ベルトは緩まないように装着してください。緩んだ状態では絶対に使用しないでください。
- ▶ 使用中にずれ、緩みが生じた場合は必ず正しい位置に装着し直してください。
- ▶ 常に乾燥させてご使用下さい。汗などの水分が付着したまま使用されますと破損の原因となります。
- ▶ 直射日光の当たる場所や、高湿になる場所に放置しないでください。

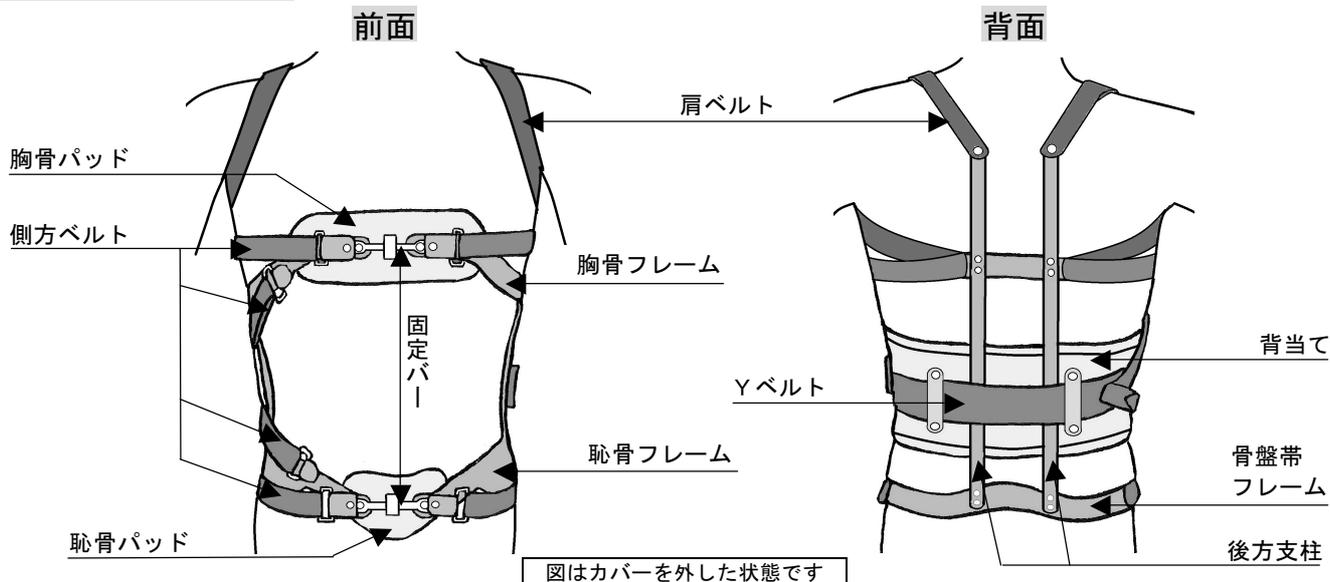
装着方法 (各部の名称は裏面をご参照ください)

- ▶ 本装具の上下を確認してください。※胸骨パッドに「上」と印があります。
- ▶ 右側面のベルトを全て外し(左側面は付けたまま)、「肩ベルト」を両肩に通します。〔①〕
- ▶ 身体正面の中心に「胸骨パッド」と「恥骨パッド」の中心を位置させます。〔②〕
- ▶ 背面も同様に身体の中心が2本の後方支柱の中心を通るように位置させます。〔②〕
※適切な位置にならない場合は左側面のベルトの長さを調節してください。
- ▶ こし骨を結ぶ線の上に「恥骨パッド」が位置します。〔③〕
- ▶ 「背当て」を背部に回し、右側面で「側方ベルト」を順番に締めます。〔④〕
※とめる順番はベルトに付いている数字(①から④)の通りです。
- ▶ 身体正面と背面の中心に装具の中心が位置していることを確認し、全てのベルトを締め直し、身体をしっかり固定してください。〔⑤〕
- ▶ 最後に「肩ベルト」を締め直し、背筋をしっかり伸ばします。〔⑥〕※締め過ぎにはご注意ください。



義肢装具製作所様用

本体構造と各部の名称

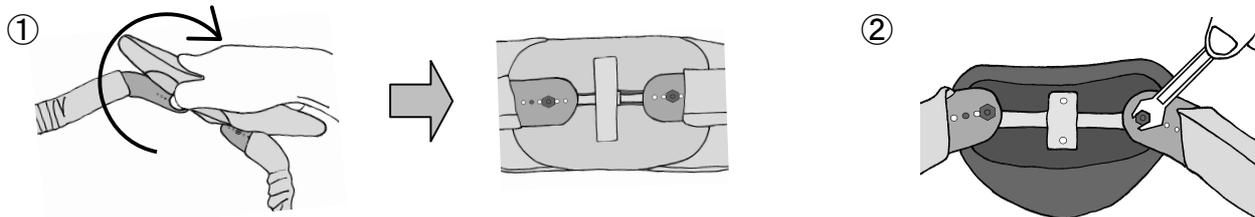


注意

- 使用前に装着者の体幹の形状に合わせて支柱を曲げ、微調整を行ってください。
※ネジ穴付近を曲げる際はフレームが破損する恐れがありますので、ご注意ください。
- ネジの調節にはプラスドライバー（刃先 ⊕ 2）をご使用ください
- ネジの緩みが心配な場合はネジ止め用の接着剤などをご使用ください。

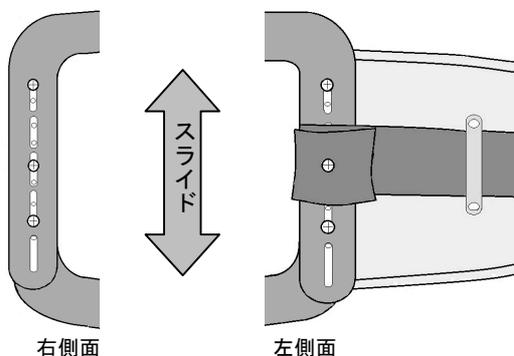
横幅の調整方法

- 胸骨・恥骨パッドのカバーを外します。
- 各パッドをしっかりと反転させます。[①]
- ネジ、ナット（7mmスパナ使用）を取り外し [②]、固定バーをスライドさせ横幅を調整します。



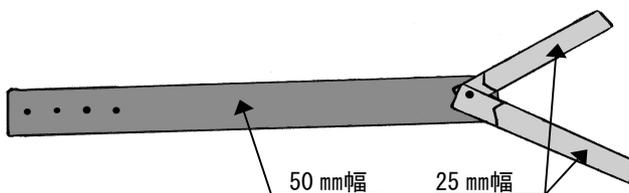
高さの調整方法

- 両側面のカバー、Yベルト、ネジを外します。
- 胸骨・恥骨フレームをスライドさせ高さを調整します。



Yベルトの調整方法

- ベルトが長い時
 - ・ 50 mm幅のベルトを折り込んで短くする。
 - ・ 25 mm幅のベルト（30 mm間隔で縫製）をカットする。
- ベルトが短い時
 - ・ 折り込んでいる 50 mm幅のベルトを長くする。



※改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

取扱義肢装具製作所

製造・発売元

世界遺産 石見銀山

中村ブレイス株式会社

本社/〒694-0305 島根県大田市大森町ハ132
TEL (0854) 89-0231 (代) FAX (0854) 89-0018
東京事務所/〒158-0097 東京都世田谷区用賀4-10-3
世田谷ビジネススクエア ヒルズII 2F-25号
TEL (03) 3709-9361 FAX (03) 3709-9362